

## 市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（山武北小学校）

期 日：平成 27 年 9 月 1 日 19 時 00 分～20 時 10 分（P T A 役員会後）

場 所：山武北小学校 ふれあい広場

参加者：山武北小学校 P T A 役員 11 名 校長・教務

### 【意見内容と回答】

◎男性

中学校は、山武中から山武南中に分かれたので統合はいいと思う。成り立っていない部活動が多い。小学校は睦岡小と山武北小のどちらの校舎を利用するのか決まっているのか。

○教育総務課長

まだ決まっていない。基本的には複式解消を優先で考えているので、すぐに統合という話ではない。

◎男性

普段の話の中で、小学校はいずれは一つだろうねという話は出ている。

◎女性

通学時間の考え方で、概ね 1 時間以内とあるが、バスで 1 時間以内では相当遠くから通うことが可能になる。睦岡小と山武北小の統合後、もっと大きな枠組みで統合を考えているように感じられた。いずれはもっと遠くなるのか。

○教育総務課長

考え方については、国の基準をベースに作ってある。全国を見ると 6 キロ以内に学校がないところもある。

◎女性

極端なことと言えば、山武市に 1 校あれば、1 時間以内であればどこでも通うことができってしまう。

○教育総務課長

先進地視察の中では、乗車時間は 30 分が限界だという話も聞いている。ここに例示してある 1 時間はあまり気にしないでいい。

◎女性

都合でスクールバスの乗車時刻に遅刻した場合には、送りか、自転車か、歩きしかないと思う。小中学生が乗合タクシーを使用できるのか。

○教育総務課長

先進地では朝 1 便・夕 2 便とかそういう運行をしている。ご指摘のことを補完するためには、統合決定後、準備委員会等で話し合いをもってもらおう考えている。

◎男性

準備期間が 4～5 年と書いてあるが、統合が前倒しになる可能性はあるのか。

○教育総務課長

合意形成されて、新しい学校がスタートするまでに、どんなに早くても 3 年はかかる。大きい学校に吸収のような形であればそれほど時間はかからないと思われるが、新しい学校にするという統合の仕方を考えれば、名称や体操服をどうするかなど調整する項目が増えてくる。そうするとある程度の期間がないとなかなかうまくいかない。

◎女性

統合するとなるとどちらの学校になるのか。今は全く白紙なのか。ある程度それが分かっていた方が聞かれた方も考えやすい。

○教育総務課長

建築年次や敷地面積を考えると山武北小の方が使い勝手はいいかと思われる。送迎バスの乗降場なども考えると。ただ、睦岡小の方が児童数が多い面もあるので、話し合いの中で決めていくようになるかと思う。

◎女性

睦岡小は校舎を修繕していると聞いたが。

○教育総務課長

山武市の学校はある程度どこの学校も手を入れているので、そのままという学校はない。

◎女性

シミュレーションをみると、旧町村単位に学校がまとまっているが、それを越えての考えはあるのか。

○教育総務課長

ここで示したのは、一番理解が得やすい形の組み合わせを示した。大平小と蓮沼小の統合案について、蓮沼地区は一つの中学校、一つの小学校しかないため、どこも組み合わせができなくなってしまう。一番隣接しておさまりのいい組み合わせと考え、大平小との統合案となっている。

◎女性

豊岡小が松尾小学校に移る考え方だとすると、睦岡小と山武北小の統合に際し、山武北小の校舎を使用となった場合に、睦岡小学区の端、麻生新田地区や豊岡地区もどちらも学校が遠くなってしまう。そういうものも加味して睦岡小を使用するという考え方もあるのか。

○学校教育課長

隣接学区については、通学距離を考え柔軟に対応し、特別な理由として就学指定変更を認めている。

◎女性

山武北小は端に位置しているので、中央の睦岡小に集まっていきそうな気がして。

○教育総務課長

通学距離が遠くなる生徒についてはスクールバスを運行することにより補完するので、あまり、中央にあるとか、端にあるとかはあまり関係ないかと思う。決定する際のウェイトの中に入ることは入ると思うが。

◎男性

戸田地区学区の子が成東の大富小に行く子とも選択できるということか。

○学校教育課長

申請は必要になるが可能である。

◎男性

統廃合して、徒歩や自転車で通学する子が増える。学校周辺の道が狭くて、まともな歩道がないところが多い。歩道の整備などはどうなるのか。

○教育総務課長

統合に合わせて整備できれば一番いいかと思うが、毎年やっている通学路点検とかで何とかやりくりしている。どこまでできるかは今は言えないが、極力できることはやっていきたい。

◎女性

学校の位置を決める際には、保護者の意見も重視されるのか。山武北小より睦岡小の方が人数が多いので、多数決で決められてしまうのは困る。

○教育総務課長

決め方は色々あるかと思う。例えば、お互いの保護者がお互いの学校を見に行くとか。新しい学校を他の学校に建てるという選択肢は今の山武市では出来ない。学校を新設するとなると30億以上かかる。対象校になった者同士で協議をいただく形になるかと思う。

◎女性

小中一貫という話もあったようですが、具体的にはなっていないのか。

○教育総務課長

適正配置の意見まとめるときに、小中一貫の話も出た。小規模校の小学校と中学校の統合は、縦の流れの中での交流は見込まれるが、学年の中での学び合いや高め合いは変わらないのではないかという結論にいたった。まず、同じ学年で一定規模にしたうえで、次のステップとして小中一貫という選択も出てくると考えている。小中一貫を規模適正の手段として使うのは難しい。

◎男性

中学校の部活が気になってしまう。やりたい部活動がある学校に就学することは可能なのか。

○学校教育課長

就学しなければならない学校にその部活動がないのであれば、他市町に受け入れについての申請をしている。了承が得られれば受け入れ可能。

◎男性

入学した後に活動していない部活動を再開することは出来るのか。

○指導室長

施設の整備は必要だが、部活動を再開することは可能。ただ、色々な部活動が出来たはいいが、大会にも出られない人数では、子供たちにとっても盛り上がりには欠けると思われる。山武中・山武南中に限らずそういう問題を抱えていると思われる。

○学校教育課長

部活動を何人以上で運営するのかを決めるのは、教育委員会ではなく、校長の判断である。休部・廃部・再開などについては校長が決める。

◎男性

なにか決まりがあって、決まった人数以下になってしまったらその部活は廃部という話を聞いた。

○指導室長

山武中は集団でやるスポーツの部員が少なくなってしまった。人数が少なくなったら、部活ではなくクラブにしようかという話が出てきた。部活動のあり方の骨組みを決めようという話になった。昨年度からそれに取り組んで、最低の人数が2年続いたらクラブという部分を検討していた。山武中でいうと、バレー部、バスケットボール部、ソフトボール部、野球部もぎりぎりの人数でやっている。

◎男性

野球は、中学校で部活動に入らず、クラブチームで活動する子も多くいる。

○学校教育課長

生徒数の減少が原因で起きている問題である。生徒が増えれば、学校の中で活動ができる。中学校については、他の活動も考えたときに本当に適正規模にしていかななくてはいけないと思っている。